

2024年度

公益社団法人日本看護協会

改選役員及び推薦委員選挙

選挙公報

公益社団法人日本看護協会

選挙管理委員会

〈記載事項について〉

- ※ 記載の年齢は、2024年6月6日現在です。
- ※ 〔勤務先〕及び〔協会活動歴〕の現職は、2024年3月31日現在です。
- ※ 〔主な看護業務従事歴〕は、経歴より抜粋し記載しております。
- ※ 〔抱負〕は、「公益社団法人日本看護協会 選挙及び選挙管理委員会に関する規則」に則り、候補者から提出のあった原文のまま掲載しています。

※順位は改選役職ごとに五十音順で掲載しています。

◆◆◆ 副会長候補者（候補者1／現任3、改選1） ◆◆◆

勝又 浜子 (かつまた はまこ) 1

◆◆◆ 理事（候補者3／現任7、改選3） ◆◆◆

井本 寛子 (いもと ひろこ) 2

橋本 美穂 (はしもと みほ) 2

松本 珠実 (まつもと たまみ) 3

◆◆◆ 地区理事（候補者23／現任46（都道府県に各1）、改選23） ◆◆◆

北海道 高橋 久美子 (たかはし くみこ) 3

青森県 川野 恵智子 (かわの えちこ) 4

岩手県 相馬 一二三 (そうま ひふみ) 4

秋田県 白川 秀子 (しらかわ ひでこ) 5

栃木県 朝野 春美 (あさの はるみ) 5

千葉県 増渕 美恵子 (ますぶち みえこ) 6

東京都 柳橋 礼子 (やなぎばし れいこ) 6

新潟県 池田 良美 (いけだ よしみ) 7

富山県 岡本 里美 (おかもと さとみ) 7

岐阜県 青木 京子 (あおき きょうこ) 8

愛知県 三浦 昌子 (みうら まさこ) 8

滋賀県 草野 とし子 (くさの としこ) 9

京都府 豊田 久美子 (とよだ くみこ) 9

大阪府 弘川 摩子 (ひろかわ まこ) 10

奈良県 春木 邦恵 (はるき くにえ) 10

和歌山県 東 直子 (ひがし なおこ) 11

岡山県 二宮 一枝 (にのみや かずえ) 11

※順位は改選役職ごとに五十音順で掲載しています。

広島県	山本 恭子	(やまもと きょうこ)	12
香川県	富山 清江	(とみやま きよえ)	12
長崎県	日野出 悦子	(ひので えつこ)	13
熊本県	本 尚美	(もと なおみ)	13
宮崎県	久保 敦子	(くぼ あつこ)	14
鹿児島県	八田 冷子	(やつだ れいこ)	14

◆◆◆ 准看護師理事 (候補者2 / 現任2、改選2) ◆◆◆

針生 真由美	(はりう まゆみ)	15
山田 啓子	(やまだ けいこ)	15

◆◆◆ 推薦委員 (候補者11 / 現任11、改選11) ◆◆◆

幾田 純代	(いくた すみよ)	16
大沼 扶久子	(おおぬま ふくこ)	16
小川 忍	(おがわ しのぶ)	17
各務 初恵	(かがみ はつえ)	17
川淵 ゆかり	(かわぶち ゆかり)	18
呉竹 礼子	(くれたけ れいこ)	18
鈴記 洋子	(すずき ようこ)	19
谷岡 美佐枝	(たにおか みさえ)	19
比恵島 知子	(ひえじま ともこ)	20
吹谷 由美子	(ふきや ゆみこ)	20
富士 光恵	(ふじ みつえ)	21

◆◆◆ 副会長候補者 ◆◆◆

推薦委員会推薦



かつまた はまこ
勝又 浜子 67歳 新

〔勤務先〕

公益社団法人 日本看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1987年4月 滋賀県厚生部医務予防課 主任保健師
1994年4月 厚生労働省健康政策局看護課 課長補佐
2006年9月 厚生労働省健康局保健指導室 室長
2011年7月 厚生労働省老健局高齢者支援課認知症虐待防止対策推進室 室長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：専務理事（現職）、常任理事
滋賀県看護協会：看護教育委員

〔抱負〕

役員選挙にあたり、推薦委員会から副会長候補者として推薦いただきましたことを重く受け止めており、改めて身の引き締まる思いでおります。

私は、厚生労働省の看護技官として20数年、看護の質の向上を目指して法律改正等に携わってまいりました。しかし、看護師基礎教育の期間延長、准看護師養成の停止、看護職員の処遇改善など道半ばにして、退職を迎えることになりました。まだまだやり残したことがあり、日本看護協会という立場から、看護の課題解決に向けてもうひと頑張りすべきと考えました。

2015年から常任理事として、看護師基礎教育4年制化、准看護師養成停止、ナースプラクティショナー制度創設の検討、能力に応じた賃金体系の提案などに、心血を注いでまいりました。

2018年からは専務理事として、会長とともに、内部管理、組織強化、広報などを担当してまいりました。2020年1月からの新型コロナウイルス患者発生以降、PPEの確保、看護職員への誹謗中傷対策、ワクチン接種のための看護職員の確保、クラスター発生時の看護職の全国派遣調整、コロナで疲弊している看護職員の相談支援など日常業務プラスの大変な仕事になりました。また、看護小機能多機能型居宅介護における看護の定義の位置づけ、処遇改善、基本指針の改正、災害支援ナースの法制化などを行ってきました。

日本看護協会の活動理念としては個人の力だけで解決できない問題や課題を組織のちからで解決し、看護を発展させることです。今後とも、看護政策を実現するため、政策を作り上げ、その実現に向けて、厚生労働省、文部科学省などの省庁、国会議員の先生方と常に意見交換を行いながら進めてまいりたいと考えています。

団塊ジュニアの方々が高齢者となる2040年は超高齢超少子化社会です。生産年齢人口が減少し、18歳人口の12人に1人が看護の道に進んでいただかないと現在の看護提供体制は維持できません。医療の視点と生活の視点をもつ看護職が中心となって、地域社会の中で国民の命と健康を守っていくための方策として、2015年に公表した「看護の将来ビジョン」の総括に向けた検討を始めるとともに、社会状況が変化する2040年を見据え、2025年以降の取り組みの指針（新ビジョン）の策定にも着手したいと考えています。各都道府県協会の皆様のご意見をお聞きしながら、共に看護政策の実現に向け努力をしてまいります。

◆◆◆ 理事 ◆◆◆

推薦委員会推薦



^{いもと} ^{ひろこ}
井本 寛子 54歳 **現**

〔勤務先〕

公益社団法人 日本看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1992年 4月 日本赤十字社医療センター 助産師

1994年 4月 柏原赤十字病院 助産師

1996年 4月 日本赤十字社医療センター 副看護部長、周産母子小児副センター長

2018年 6月 公益社団法人日本看護協会 常任理事

〔協会活動歴〕

日本看護協会：常任理事（現職）、助産師職能委員 等

東京都看護協会：東京都助産師出向支援協議会委員

〔抱負〕

6年間常任理事として、看護職の役割拡大、働き方改革に伴うタスクシフト関連、助産関連事業等を担当してまいりました。この活動を通じて、常に念頭においておりましたのは、第一線の看護職の存在です。現在、看護職はあらゆる場で活動し、疾病の予防から療養支援まで、人々に最も近い存在として専門性を発揮し支えています。医療提供体制の大転換期である今、現場の皆様の声を大切にしながら看護職が一層活躍できる体制整備に注力します。

◆◆◆ 理事 ◆◆◆

推薦委員会推薦



^{はしもと} ^{みほ}
橋本 美穂 59歳 **新**

〔勤務先〕

公益社団法人 日本看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1997年 4月 聖路加国際病院 助産師

2013年 7月 公益社団法人日本看護協会 労働政策部長

2019年 4月 公益社団法人日本看護協会 事業局長

2023年 6月 公益社団法人日本看護協会 事業局長兼国際部長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：個人情報保護委員会委員

〔抱負〕

世界に先駆けた少子高齢化や、就業看護職員の平均年齢の大幅な上昇、働き方改革による医師の労働時間の上限規制など、看護を取り巻く環境が急激に変わっています。この変革の時に、日本看護協会の労働政策部長や事業局長として、看護政策に取り組み、重点事業を推進してきた知識と経験を活かして、看護職が誇りとやりがいをもって働き続けられ、人々が安心して生活を続けられるような未来に向かって、全力を尽くす所存です。

◆◆◆ 理事 ◆◆◆

推薦委員会推薦



まつもと たまみ
松本 珠実 60歳 新

〔勤務先〕

大阪市健康局

〔主な看護業務従事歴〕

1987年4月 大阪市淀川保健所 係員
1993年4月 大阪市立厚生女学院（のち保健専門学校） 専任教員
2015年4月 国立保健医療科学院生涯健康研究部 上席主任研究官
2023年4月 大阪市健康局 保健指導担当部長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：保健師の活動基盤に関する基礎調査有識者会議・委員、市町村統括保健師の人材育成検討委員会・座長 等
大阪府看護協会：教育委員

〔抱負〕

65歳以上の高齢者の割合がピークに達する2040年を控え、保健・医療・福祉ニーズの増大と労働人口の減少に伴う社会問題が深刻化すると予想されています。地域包括ケアシステムの機能を高めるために、看護の重要性は増しており、さらなる看護の質の向上と他職種との協働、やりがいを持って働き続けられる環境整備が重要と考えます。これまでの経験を生かし、看護政策の転換期にあたり理事として貢献できるよう尽力して参ります。

◆◆◆ 地区理事（北海道） ◆◆◆

推薦委員会推薦



たかはし くみこ
高橋 久美子 62歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 北海道看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1983年4月 北海道大学医学部附属病院 看護師
2012年4月 北海道大学病院 副看護部長
2019年4月 北海道大学病院 副病院長・看護部長
2022年6月 公益社団法人北海道看護協会 会長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）
北海道看護協会：会長（現職）、一般理事、創立65周年記念誌担当委員、広報出版委員長 等

〔抱負〕

新興感染症や自然災害、少子超高齢化が進む中、「地域の住民をどのように支えるのか」という課題解決に向けて、これまで以上に地域・在宅へと繋ぎ支える役割が看護職には求められています。キャリアを活かした就業支援、多職種との連携・協働、専門性を発揮する看護職の養成等取り組んで参ります。地区理事として、日本看護協会、都道府県看護協会との連携を強化し、看護職が誇りを持って働き続けられる環境整備に尽力致します。

◆◆◆ 地区理事（青森県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



かわの えちこ
川野 恵智子 65歳 **新**

〔勤務先〕

公立大学法人 青森県立保健大学

〔主な看護業務従事歴〕

2010年4月 八戸市立市民病院 副看護局長
2016年4月 八戸市立市民病院 副院長兼看護局長
2019年4月 八戸学院大学 教授
2023年4月 公立大学法人 青森県立保健大学 教授

〔協会活動歴〕

青森県看護協会：副会長（現職）、看護研究倫理審査委員（現職）、看護師職能委員、日本看護学会準備委員

〔抱負〕

コロナ禍を経て社会状況は大きく変化し、健康に対する多様なニーズに対する看護への期待はさらに高まっています。この期待に応えるには、2040年を見据えた日本看護協会の看護政策の実現が必須であり、地域特性をふまえながら人々の健康と暮らしを支えるという看護の本質や役割のもとに一体的な活動が必要となります。地区理事として臨床や基礎教育での経験を活かし、都道府県看護協会と連携し社会の期待に応えるよう努めます。

◆◆◆ 地区理事（岩手県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



そうま ひふみ
相馬 一二三 69歳 **現**

〔勤務先〕

公益社団法人 岩手県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

2000年4月 岩手医科大学附属病院 副看護部長
2003年4月 岩手看護短期大学 助教授
2018年4月 岩手医科大学 看護学部 准教授
2022年6月 公益社団法人岩手県看護協会 会長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）

岩手県看護協会：会長（現職）、非常勤専門職員、岩手県実習指導者委員会委員 等

〔抱負〕

日本看護協会は、重点政策の一つに「地域における健康と療養を支える看護師の裁量発揮」を挙げています。今年度、岩手県看護協会では県の委託を受け訪問看護総合支援センター（仮）を設置する予定です。その中で訪問看護師と認定看護師・特定行為看護との連携を強化し、専門性の高い看護師が裁量を発揮することで、タイムリーに質の高い看護が提供できるシステム作りを行います。県の事業成果も活かし、地区理事として尽力してまいります。

◆◆◆ 地区理事（秋田県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



しらかわ ひでこ
白川 秀子 64歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 秋田県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1996年4月 秋田大学医学部附属病院 副看護師長
2002年4月 秋田大学医学部附属病院 看護師長
2007年4月 秋田大学医学部附属病院 副看護部長
2014年4月 秋田大学医学部附属病院 副病院長・看護部長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）

秋田県看護協会：会長（現職）、教育会議委員、認定看護管理者教育運営委員会委員 等

〔抱負〕

医療の進歩、少子高齢化の進展、生産年齢人口の急激な減少、新興感染症や災害の多発等々、社会・医療情勢の激変の中、看護職は幅広い分野での活躍が期待されています。すべての人がその人らしく安心して暮らせる社会の実現には、看護職が誇りとやりがいを持って働き続けられる環境整備や人材確保・育成、危機管理体制の構築が重要です。県協会との連携を強化し課題解決に取組み地区理事としての責務を果たして参ります。

◆◆◆ 地区理事（栃木県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



あさの はるみ
朝野 春美 67歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 栃木県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1995年4月 自治医科大学看護短期大学・自治医科大学看護学部 講師
2006年4月 自治医科大学附属病院 看護副部長・とちぎ子ども医療センター副センター長、看護部長・副病院長
2018年4月 公益社団法人地域医療振興協会 医療事業本部 地域看護介護部 部長（兼）地域医療研究所 地域看護研究センター長
2020年6月 公益社団法人栃木県看護協会 会長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）、認定看護管理者看護制度委員会委員

栃木県看護協会：会長（現職）、副会長、理事、看護制度委員会委員、広報出版委員会委員

〔抱負〕

変化の激しい社会情勢や医療環境の中、時代のニーズに対応できる看護職が求められており、地域完結型医療への転換に伴い、人々が住みなれた地域で、その人らしく生活できるような支援体制の構築が重要な課題となっています。

そのため、看護職がその役割をしっかりと遂行し、誇りをもっていきいきと活躍できる体制の構築に向けて、日本看護協会と都道府県看護協会、関係機関の連携を更に深め、その体制づくりに取り組んで参ります。

◆◆◆ 地区理事（千葉県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



ますぶち みえこ
増渕 美恵子 65歳 新

〔勤務先〕

公益社団法人 千葉県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1982年3月 学校法人日本医科大学附属病院
1986年11月 学校法人日本医科大学看護専門学校 専任教員
2012年4月 学校法人日本医科大学千葉北総病院 副院長・看護部長
2023年12月 公益社団法人千葉県看護協会

〔協会活動歴〕

千葉県看護協会：副会長、理事・教育委員会委員長

〔抱負〕

少子・超高齢化社会の中で、労働人口の減少は現在進行形です。そのような中で、「医師の働き方改革」や「看護師等の人材確保の推進に関する法律」により役割の変化や仕組み作りが益々重要となっております。

看護の専門職の職能団体として、患者さんと看護職が「生きる」ためのシステム構築を推進し、日本看護協会の政策実現のために都道府県看護協会と連携しながら遂行できるよう、努めて参ります。

◆◆◆ 地区理事（東京都） ◆◆◆

推薦委員会推薦



やなぎばし れいこ
柳橋 礼子 63歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 東京都看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1999年4月 聖路加国際病院 副看護部長
2010年4月 河北総合病院 看護部長
2013年4月 聖路加国際病院 副院長・看護部長
2019年4月 学校法人常磐大学看護学部 准教授

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）、第53回日本看護学会学術集会抄録選考委員 等
東京都看護協会：会長（現職）、中部地区理事、学術推進委員会委員

〔抱負〕

急速な少子高齢化での地域包括ケアの推進、新興感染症や自然災害などあらゆる環境下で看護の役割は拡大し、地域社会のニーズに対応する能力が求められています。看護の質向上と看護職の資質向上をめざして、生涯学習支援、働きやすい職場環境づくりと就労支援、処遇改善、地域の健康危機管理体制の構築に取り組んでまいります。

また、日本看護協会地区理事として都看護協会との連携を深め、課題解決に向け尽力いたします。

◆◆◆ 地区理事（新潟県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



いけだ よしみ
池田 良美 62歳 **新**

〔勤務先〕

公益社団法人 新潟県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

2014年4月 新潟県立六日町病院 看護部長
2017年4月 新潟県病院局 業務指導監
2020年4月 新潟県立がんセンター新潟病院 看護部長
2022年6月 公益社団法人新潟県看護協会 専務理事

〔協会活動歴〕

新潟県看護協会：専務理事（現職）、認定看護管理者教育運営委員

〔抱負〕

人口動態や社会情勢が変化中、新興感染症や自然災害の発生等予測不可能で先が見通せない状況にあります。どの様な状況下にあっても看護職が社会の期待に応えられるよう、日本看護協会が掲げる政策実現に向け取り組みを推進します。看護職が自らの資質、働く場の質を高め、健康で誇りをもって働き続けられるよう、日本看護協会と都道府県看護協会や行政、あらゆる関係団体との連携を深め、地区理事としての役割を果たしてまいります。

◆◆◆ 地区理事（富山県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



おかもと さとみ
岡本 里美 61歳 **新**

〔勤務先〕

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

〔主な看護業務従事歴〕

1985年4月 富山県立中央病院 助産師
1988年4月 富山県立総合衛生学院 専任教員
2021年4月 富山県立中央病院 副院長・看護部長
2023年4月 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 副院長・看護局長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：推薦委員（現職）

富山県看護協会：副会長（現職）、理事、選挙管理委員、推薦委員、社会経済福祉委員

〔抱負〕

社会状況が変化する中で、看護職には人々のいのちと健康を守り、その人らしく生きる支援に力を発揮することが期待されています。地区理事として、看護職が生き生きと安心して働き続けられるよう、都道府県看護協会と協働し尽力してまいります。現下の課題への対応として、全世代型地域包括ケアにおける看護提供体制の強化、看護職のキャリア継続と役割発揮への支援、働き方改革の実現、災害支援活動の推進に取り組んでまいります。

◆◆◆ 地区理事（岐阜県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



あおき きょうこ
青木 京子 66歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 岐阜県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1979年 4月 高山赤十字病院
1980年 4月 名古屋第一赤十字病院
2012年 4月 JA岐阜厚生連中濃厚生病院 看護部長
2020年 6月 公益社団法人岐阜県看護協会 会長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）
岐阜県看護協会：会長（現職）、常務理事、副会長

〔抱負〕

看護師職が必要とされる場が広がり、ますます需要が高まる中、看護職確保は重要な課題です。しかし人口が減少していくことを考えると、数の確保に加え質を高めることが必要となります。看護職が看護を魅力ある職業と感じ、やりがいと誇りを持ち働き続けられる環境づくりに尽力し、目の前の課題と共に、中長期的な視点も合わせ課題に取り組んでまいります。

◆◆◆ 地区理事（愛知県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



みうら まさこ
三浦 昌子 68歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 愛知県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1977年 4月 名古屋大学医学部附属病院 看護師
1993年 4月 名古屋大学医学部附属病院 看護師長
2006年 4月 名古屋大学医学部附属病院 副病院長兼看護部長
2015年 4月 名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター看護キャリア支援室 教授

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）、看護職賠償責任保険制度運営委員会委員（現職）等
愛知県看護協会：会長（現職）、副会長、看護管理者認定委員

〔抱負〕

看護業界は業務のIT化を進めており、多様性を受け入れ変化への対応力を養い、柔軟に社会の要請に応えていかななくてはなりません。医療・介護業界における人材不足はさらに深刻化しています。このことを踏まえて、2040年の社会状況を見据え、地区理事として都道府県看護協会と連携し、看護提供体制のあり方を検討し、体制の見直しと再構築に取り組みます。さらに、生涯学習の充実と就業継続が可能な看護職の働き方を推進してまいります。

◆◆◆ 地区理事（滋賀県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



くさの としこ 草野 とし子 69歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 滋賀県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1992年4月 滋賀県健康福祉部健康対策課 主査
2005年4月 滋賀県彦根保健所・水口保健所 課長補佐
2010年4月 滋賀県立看護専門学校 校長
2013年4月 滋賀県草津保健所 主席参事

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）、教育委員

滋賀県看護協会：会長（現職）、専務理事、常務理事、教育委員会委員、看護学会委員

〔抱負〕

全世代型地域包括ケアシステムの進む中、複雑で多様な看護ニーズに応えるため、看護の役割や機能は拡大し、幅広い分野で質の高い看護の提供が期待されています。しかし、現場の人材確保は厳しく、看護職や看護補助者確保に向けた取組みが喫緊の課題となっています。また、看護職が専門性を発揮していきいきと働き続けられる職場環境づくりも重要です。これら様々な課題解決に向けて、県協会と連携し活動推進に尽力して参ります。

◆◆◆ 地区理事（京都府） ◆◆◆

推薦委員会推薦



とよだ くみこ 豊田 久美子 68歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 京都府看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

2003年4月 滋賀県立大学 教授
2009年4月 京都市立看護短期大学 学長・教授
2014年4月 京都看護大学 学長・教授
2022年6月 公益社団法人京都府看護協会 会長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）

京都府看護協会：会長（現職）、准看護師制度特別委員会委員、看護師確保定着推進特別委員会委員

〔抱負〕

少子超高齢社会の進展、新興感染症・自然災害の多発といった環境要因、第8次医療計画の開始、医師の働き方改革に伴うタスク・シフト/シェアの中で、看護職に求められる役割期待が多くなる一方、処遇改善、人材確保など看護職にとって喫緊の課題は山積しています。揺るぎない看護の専門性と固有の価値を基盤に据え、日本看護協会が掲げる看護政策の実現に向けて、府看護協会との連携に努めながら地区理事としての責務を果たして参ります。

◆◆◆ 地区理事（大阪府） ◆◆◆

推薦委員会推薦



ひろかわ まこ
弘川 摩子 64歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 大阪府看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

2016年4月 大阪赤十字病院 副院長兼看護部長
2018年4月 日本赤十字社医療事業推進本部 副本部長兼看護部長
2018年4月 日本赤十字社幹部看護師研修センター 所長
2022年6月 公益社団法人大阪府看護協会 会長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）
大阪府看護協会：会長（現職）、認定看護管理者教育課程運営委員会委員

〔抱負〕

2040年を見据え、保健・医療・福祉を取り巻く環境を整えていくと同時に現役世代の減少にも対応できる人材確保が喫緊の課題です。都道府県看護協会とさらなる連携を強化し、地域のニーズに対応した看護提供体制を整備していきます。また、感染症発生・まん延時や災害発生時など危機管理に対応できる体制づくりと人材育成を推進します。

◆◆◆ 地区理事（奈良県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



はるき くにい え
春木 邦恵 65歳 新

〔勤務先〕

公益社団法人 奈良県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

2001年4月 奈良県立三室病院 看護師長
2008年4月 奈良県立奈良病院 看護副部長
2015年4月 地方独立行政法人奈良県立病院機構奈良県総合リハビリテーションセンター 副院長兼看護部長
2018年4月 地方独立行政法人奈良県立病院機構奈良県西和医療センター 副院長兼看護部長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：日本看護学会看護教育学会抄録選考委員・準備委員
奈良県看護協会：常任理事（現職）、規約委員、倫理審査委員、第一副会長 等

〔抱負〕

日本の人口動態や社会保障制度など、専門職としての知識だけでは看護職のなすべきことは見えません。世界の社会情勢やITの進化など、多様な分野に目を向けながら情報を整理し活用できるよう、日々研鑽しなければならないと改めて考えています。そして、看護職の力を多くの場で発揮できるよう、また更に社会に求められるよう、県看護協会としっかりと協働し、地区理事としての役割を果たしていきたいと思ひます。

◆◆◆ 地区理事（和歌山県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



ひがし なおこ
東 直子 70歳 **現**

〔勤務先〕

公益社団法人 和歌山県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1998年4月 社会保険紀南総合病院外科病棟 婦長
2005年4月 白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院 副看護部長
2007年4月 白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院 副院長・看護部長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）
和歌山県看護協会：会長（現職）、副会長、看護師職能Ⅰ委員長、セカンドレベル教育課程実行委員 等

〔抱負〕

人口減少・超少子高齢社会の進展に伴い、労働力の減少を補うように多くの分野でDX化等が進んでいます。地域包括システムが推進される中、切れ目のない医療・介護を提供するためには、人材確保は喫緊の課題と考えます。看護職の離職防止・定着を実現するために、看護職が生き生きと誇りをもって働き続けられる環境改善に取り組んでまいります。また、看護職の人材育成・処遇改善の推進等、都道府県看護協会と更なる連携に努めます。

◆◆◆ 地区理事（岡山県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



にのみや かずえ
二宮 一枝 74歳 **現**

〔勤務先〕

公益社団法人 岡山県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1972年4月 岡山県美作保健所（西粟倉村配置） 保健師
1991年4月 岡山県環境保健部公衆衛生課保健指導係 係長
1999年4月 岡山県公衆衛生看護学校 教頭
2011年4月 岡山県立大学大学院保健福祉学研究科前期課程 看護学専攻長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）、日本看護協会における博物館基本構想案検討委員（現職） 等
岡山県看護協会：会長（現職）、副会長（保健師職能委員長）、監事、学会委員 等

〔抱負〕

地域共生社会の実現をめざし、全世代型地域包括ケアシステムが進化・深化する中で看護の役割は拡大しています。社会のニーズに柔軟に対応し、看護職が誇りをもってキャリアを継続できる体制づくりに取り組みたいと考えています。2025年までの「看護の将来ビジョン」から2040年を見据えた新ビジョン検討の転換期における政策実現のため、地区理事として県看護協会との連携を更に強化し、課題解決に向けて尽力して参ります。

◆◆◆ 地区理事（広島県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



やまもと きょうこ
山本 恭子 72歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 広島県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1993年 4月 広島市立安佐市民病院 看護師長
2003年 4月 広島市立安佐市民病院 副看護部長
2005年 4月 広島市立安佐市民病院 看護部長
2006年 4月 広島市立安佐市民病院 副院長（事）看護部長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）、看護業務の効率化・生産性向上のための支援策検討委員（現職）
広島県看護協会：会長（現職）、専務理事、常務理事

〔抱負〕

少子超高齢化社会となり、人々の健康ニーズは複雑化・多様化する中、感染症や自然災害などが多発し、看護職にはこれまで以上に専門職としての役割拡大や発揮が期待されています。地区理事3期目としての経験を活かし、2040年問題を見据えた社会のニーズに柔軟に対応できる看護の質向上のための人材育成に尽力します。また、看護職があらゆる職場において安全・安心して働き続けられる職場環境の整備に取り組んでまいります。

◆◆◆ 地区理事（香川県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



とみやま きよえ
富山 清江 62歳 新

〔勤務先〕

公益社団法人 香川県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

2006年 4月 国立大学法人香川大学医学部附属病院 看護師長
2014年 4月 国立大学法人香川大学医学部附属病院 副看護部長
2019年 4月 国立大学法人香川大学医学部附属病院 副病院長兼看護部長
2022年 4月 公益社団法人香川県看護協会 常任理事

〔協会活動歴〕

香川県看護協会：常任理事（現職）、副会長、認定看護管理者教育課程運営委員会委員、香川県ナースナビ整備事業検討委員会委員 等

〔抱負〕

日本看護協会地区理事として、本会と県看護協会の連携を図り社会から求められる看護職への役割期待に応えられるよう協会役員・支部長と連携し、先を見据えながら地域包括ケアシステムを推進してまいります。看護職一人ひとりが、自信と誇りをもち役割を発揮することにより地域住民の安心・安全な暮らしを支えられると考えます。看護の質向上と看護職がいきいきと働き続けられる職場環境の整備など看護の発展のために尽力してまいります。

◆◆◆ 地区理事（長崎県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



ひ の で え つ こ
日 野 出 悦 子 67歳 新

〔勤務先〕

公益社団法人 長崎県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1980年4月 長崎県有川保健所
2013年4月 長崎県障害福祉課（本庁） 参事
2016年4月 長崎県こども・女性・障害者支援センター 障害者支援部長
2023年5月 公益社団法人長崎県看護協会 会長

〔協会活動歴〕

長崎県看護協会：会長（現職）、長崎県看護協会あり方検討委員、副会長、保健師職能委員長、推薦委員

〔抱負〕

少子・超高齢社会の進展や新興感染症、自然災害への対応など看護職には多様な幅広い場での活躍が求められています。

全世代型地域包括ケアシステム構築の推進における看護職の果たす役割と期待が拡大される中、地域の看護職の組織力を強化し、人々の健康な生活の実現に貢献できるよう努めてまいります。

また、地区理事として、2040年を見据え、都道府県看護協会と連携を図り、先見性をもった看護政策の実現に尽力いたします。

◆◆◆ 地区理事（熊本県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



も と な お み
本 尚 美 66歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 熊本県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1979年4月 熊本大学医学部附属病院 看護師
2002年4月 熊本大学医学部附属病院 看護師長
2006年4月 熊本大学医学部附属病院 副看護部長
2012年4月 熊本大学医学部附属病院 看護部長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）、日本看護学会学術集会企画会委員（現職）

熊本県看護協会：会長（現職）、常務理事、新人看護職員研修責任者等研修検討委員会委員 等

〔抱負〕

超高齢社会の進展や新興感染症・大規模災害の発生等で、人々の健康と生活を支える看護職への期待は益々大きくなっており、その期待に応えるためには、看護職の量と質の確保が重要となります。看護職が誇りとやりがいを持ち働き続けられるような、研修体制や労働環境の整備等に取り組みます。

日本看護協会の地区理事として都道府県看護協会との連携を更に強化し、看護の課題解決に向けて職責が果たせるよう尽力してまいります。

◆◆◆ 地区理事（宮崎県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



くぼ あつこ
久保 敦子 65歳 新

〔勤務先〕

国立大学法人宮崎大学医学部附属病院

〔主な看護業務従事歴〕

- 1981年4月 宮崎医科大学医学部附属病院（現 宮崎大学医学部附属病院） 助産師
- 2009年4月 宮崎医科大学医学部附属病院（現 宮崎大学医学部附属病院） 副看護部長
- 2017年4月 宮崎医科大学医学部附属病院（現 宮崎大学医学部附属病院） 看護部長
- 2019年4月 国立大学法人宮崎大学 理事補佐（看護部担当）

〔協会活動歴〕

宮崎県看護協会：副会長（現職）、助産師職能理事、助産師就業促進事業検討委員、日本看護学会看護総合抄録選考委員

〔抱負〕

人々の健康と暮らしを守ることを役割に、看護職が活躍する場は拡大する一方、生産年齢人口の減少等により、人員不足が深刻化しています。宮崎県の看護職の需給は、データ上は「不足なし」ですが、現場は人員確保に奔走する状況です。県民をはじめ国民へ必要な「看護」を提供できるよう、職能団体として、看護の道が選択されるための魅力発信、現職の看護職の資質向上、やりがいを持ちつつ働き続けられる環境・処遇の整備に尽力いたします。

◆◆◆ 地区理事（鹿児島県） ◆◆◆

推薦委員会推薦



やっだ れいこ
八田 冷子 68歳 現

〔勤務先〕

公益社団法人 鹿児島県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

- 1978年4月 鹿児島県保健所、鹿児島県保健福祉部医務課看護係、保健医療福祉課・国保指導室 保健技師、係長、技術補佐
- 2012年4月 鹿児島県保健福祉部介護福祉課 参事（地域包括ケア・認知症担当）
- 2015年4月 鹿児島純心女子大学看護栄養学部看護学科 教授
- 2018年4月 鹿児島純心女子大学看護栄養学部看護学科 学科長

〔協会活動歴〕

日本看護協会：地区理事（現職）、NP制度検討委員会委員（現職）
鹿児島県看護協会：会長（現職）、保健師職能委員、会館整備に関する委員会委員、保健師職能理事

〔抱負〕

少子高齢化が進む中、今後更に人口減少が進み、医療の担い手を確保することが益々困難になることが懸念されています。このような中人々が住み慣れた地域で最期まで安心して暮らしていくためには2040年を見据えた日本看護協会の看護政策の実現が必須であり、会員確保が重要と考えます。地区理事としてこれまでの行政・教育経験を活かし、日本看護協会と都道府県看護協会との更なる連携に努めます。

◆◆◆ 准看護師理事 ◆◆◆

推薦委員会推薦



はりう まゆみ
針生 真由美 46歳 現

〔勤務先〕

医療法人純心会 市川胃腸科外科病院

〔主な看護業務従事歴〕

1998年4月 医療法人福満会守田内科医院
1999年4月 茨城西南医療センター病院
2008年10月 医療法人社団圭春会小張総合病院
2022年10月 医療法人純心会市川胃腸科外科病院

〔協会活動歴〕

日本看護協会：准看護師理事（現職）

〔抱負〕

日本看護協会 准看護師理事 2期目 針生真由美です。准看護師が安全に働き続けられるよう研修会などによるスキルアップ支援や、看護師資格取得のための修学支援を行っている日本看護協会の取り組みを普及させ、また、協会ニュースで定期連載「みんなで考えよう准看護師制度」での情報発信に理事の立場としての活動に努めてまいります。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

◆◆◆ 准看護師理事 ◆◆◆

推薦委員会推薦



やまだ けいこ
山田 啓子 42歳 新

〔勤務先〕

医療法人社団輔仁会 太田川病院

〔主な看護業務従事歴〕

2000年12月 医療法人社団輔仁会太田川病院

〔協会活動歴〕

なし

〔抱負〕

20年間現職で准看護師として地域医療に携わってきました。少子高齢社会を取り巻く環境の変化により准看護師の在り方も変わってきました。これまでの経験を活かし准看護師が働きやすい環境づくりや准看護師制度に関する様々な問題解決に取り組み、役割が果たせるよう努めて参りたいと思います。

◆◆◆ 推薦委員 ◆◆◆

推薦委員会推薦



いくた すみよ
幾田 純代 63歳 **新**

〔勤務先〕

公益社団法人 愛知県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

2015年4月 愛知県精神保健福祉センター 保健福祉課長
2016年4月 愛知県健康福祉部医療福祉計画課 主幹
2019年4月 愛知県保健医療局健康医務部医務課こころの健康推進室長
2022年6月 公益社団法人愛知県看護協会 専務理事

〔協会活動歴〕

愛知県看護協会：専務理事（現職）、日本看護学会－看護管理－学術集会 企画運営委員会委員、推薦委員会委員

〔抱負〕

本格的な少子高齢化・人口減少社会に突入し、頻発する自然災害、新興感染症の発生等、社会情勢は目まぐるしく変化しており、看護職に求められる役割、期待はますます増大しています。人々が疾病や障害があっても住み慣れた地域でその人らしい生活を安心して営めるよう、看護の質の向上とともに、看護人材の確保や働き続けられる環境づくりに積極的に尽力いただける人材の推薦に努めてまいります。

◆◆◆ 推薦委員 ◆◆◆

推薦委員会推薦



おおぬま ふくこ
大沼 扶久子 63歳 **新**

〔勤務先〕

一般財団法人自警会 東京警察病院

〔主な看護業務従事歴〕

1982年4月 一般財団法人自警会東京警察病院
1990年4月 一般財団法人自警会東京警察病院 師長
2008年4月 一般財団法人自警会東京警察病院 副看護部長
2018年4月 一般財団法人自警会東京警察病院 看護部長

〔協会活動歴〕

東京都看護協会：西部地区理事（現職）、西部地区副支部長、地域包括ケア委員（現職）、社会経済福祉委員

〔抱負〕

わたくしは推薦委員として、都道府県協会と連携し保健師・助産師・看護師・准看護師が教育や研修に根ざした専門性の向上と看護の質向上を推進して頂ける方、また働き続けられる職場改善と看護職等の処遇改善の実現に向け尽力して頂ける方の推薦に努めて参ります。

◆◆◆ 推薦委員 ◆◆◆

推薦委員会推薦



お が わ し の ぶ
小川 忍 65歳 新

〔勤務先〕

公益社団法人 山梨県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1999年4月 山梨県立中央病院保健指導科（地域との連携窓口、糖尿病指導等） 副主査、主査
2014年4月 峡南保健福祉事務所（峡南保健所） 次長（管理職）
2019年4月 山梨県障害者相談所 所長（管理職）
2023年6月 公益社団法人山梨県看護協会 専務理事

〔協会活動歴〕

山梨県看護協会：専務理事（現職）、保健師職能理事、規約委員会委員、看護職たばこ対策委員会委員

〔抱負〕

日本看護協会は「看護の将来ビジョン」を策定し、いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護に取り組んでいますが、看護を取り巻く環境は課題が山積みしています。その中でも、特に看護職の確保・定着は喫緊の課題と考えています。今後、2040年に向けての新ビジョンの策定・実行に取り組む人材の確保が大きく影響すると考えていますので、県の保健師として経験したことを活かし、実行力のある人材の推薦に努めて参ります。

◆◆◆ 推薦委員 ◆◆◆

推薦委員会推薦



か が み は つ え
各務 初恵 65歳 新

〔勤務先〕

公益社団法人 埼玉県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1997年4月 社会福祉法人恩賜財団済生会済生会川口総合病院 看護師長
2008年4月 社会福祉法人恩賜財団済生会済生会川口総合病院 副看護部長
2019年6月 公益社団法人埼玉県看護協会 常務理事

〔協会活動歴〕

埼玉県看護協会：常務理事（現職）、倫理審査委員（現職）、認定看護管理者教育運営委員、教育委員

〔抱負〕

少子高齢多死社会を迎え、新興感染症、甚大な災害発生など人々の暮らしは大きく影響を受けています。保健・医療・福祉を取り巻く環境も変化しています。その人らしく生活し続けられるために、看護職への期待と役割は拡大していきます。あらゆる場で活躍できる看護職が求められます。看護職能団体の役割を理解し、看護の専門性を発揮し、将来を見据えた活動ができる人材の推薦に努めてまいります。

◆◆◆ 推薦委員 ◆◆◆

推薦委員会推薦



かわぶち

川渕 ゆかり

61歳

新

〔勤務先〕

公益社団法人 北海道看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

1985年4月 社会福祉法人北海道社会事業協会函館病院
1989年1月 札幌鉄道病院
2018年4月 社会福祉法人函館厚生院函館中央病院 看護部長
2023年6月 公益社団法人北海道看護協会 常務理事

〔協会活動歴〕

北海道看護協会：常務理事（現職）、道南南支部副支部長、道南南支部助産師職能委員長、道南南支部助産師職能委員

〔抱負〕

人口減少に伴う社会環境の変化によって看護職の働く環境や看護職への期待と役割も大きく変わってきました。人生100年時代を迎え、看護職自身が誇りと生きがいを感じ働き続けることができるよう、多様化する看護職の職場環境の課題解決に向けて、積極的に活動していただける人材の推薦に努めてまいります。

◆◆◆ 推薦委員 ◆◆◆

推薦委員会推薦



くれたけ

呉竹 礼子

66歳

新

〔勤務先〕

社会福祉法人 青祥会 特別養護老人ホームアンタレス

〔主な看護業務従事歴〕

2008年10月 長浜赤十字病院 看護副部長
2011年4月 神戸赤十字病院 看護部長
2014年4月 長浜赤十字病院 看護部長
2018年4月 長浜赤十字病院 副病院長兼看護部長

〔協会活動歴〕

滋賀県看護協会：副会長、認定看護管理者制度教育運営委員会委員、認定看護管理者特別委員会委員、第6地区支部役員

〔抱負〕

2040年を見据えた看護政策が実現できるよう、日本看護協会の事業推進に寄与できるような人材の推薦に努め、推薦委員としての任務を果たして参ります。

◆◆◆ 推薦委員 ◆◆◆

推薦委員会推薦



すずき ようこ
鈴記 洋子 69歳 新

〔勤務先〕

公益社団法人 徳島県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

2001年 4月 徳島大学病院 副看護部長

2012年 4月 徳島文理大学助産学専攻科 准教授

2019年 4月 公益社団法人徳島県看護協会 助産師活用推進事業アドバイザー

2022年 6月 公益社団法人徳島県看護協会 第一副会長

〔協会活動歴〕

徳島県看護協会：第一副会長（現職）、看護会館将来構想検討委員会委員、学会委員会委員、理事（助産師職能）、災害看護支援検討委員会委員、推薦委員

〔抱負〕

少子高齢化が進む中、看護職に対する国民の期待は高まっています。そのような中、2040年を見据え、日本看護協会は様々な活動を行っております。

推薦委員として、日本看護協会の掲げる重点政策・重点事業の取り組みの実現に貢献できる人材を推薦できるように活動してまいりたいと思っております。

◆◆◆ 推薦委員 ◆◆◆

推薦委員会推薦



たにおか みさえ
谷岡 美佐枝 62歳 新

〔勤務先〕

独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院

〔主な看護業務従事歴〕

2016年 4月 独立行政法人地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター
看護部長

2019年 4月 独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院 看護部長

〔協会活動歴〕

大阪府看護協会：支部理事（現職）

〔抱負〕

少子高齢化に伴う生産年齢人口が減少する中、限られた人材での効果的・効率的な医療サービス提供と、様々な不測の事態における医療や政策の転換に対して、即時な判断や柔軟な対応力が求められる時代です。また、労働環境へのニーズも多様化しており、個々のWLBの設計と自律的にキャリアを考案できる学習支援の充実が必要です。日本看護協会の活動に尽力いただき、前向きに課題解決できる人材の推薦に努めて参ります。

◆◆◆ 推薦委員 ◆◆◆

推薦委員会推薦



ひ え じ ま と も こ
比恵島 知子 63歳 **新**

〔勤務先〕

社会医療法人同心会 フィオーレKOGA看護専門学校

〔主な看護業務従事歴〕

1982年 4月 労働福祉事業団九州労災病院

2017年 2月 医療法人同心会古賀総合病院 看護部長

2017年 6月 社会医療法人同心会 統括看護部長

2022年 1月 社会医療法人同心会フィオーレKOGA看護専門学校 副校長

〔協会活動歴〕

宮崎県看護協会：認定看護管理者教育運営委員会委員（現職）、認定看護管理者制度ファーストレベル教育運営委員会委員、教育委員会委員

〔抱負〕

少子高齢社会となり、看護職に求められる役割や期待はますます広く高くなっています。時代のニーズにあった看護を提供し、看護の質の担保、働き方改革の推進等に取り組み、少子の中でも看護職を目指す子供達が増えるよう意義ある魅力的な仕事であることを示すことも必要と考えます。現場が活気あり、お互いを高め、魅力を発信できる環境であるよう、看護協会会員1人ひとりのために力を尽くしていただける方を推薦するよう努めます。

◆◆◆ 推薦委員 ◆◆◆

推薦委員会推薦



ふ き や ゆ み こ
吹谷 由美子 66歳 **新**

〔勤務先〕

公益社団法人 秋田県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

2004年 4月 市立秋田総合病院 安全推進室副参事

2009年 4月 市立秋田総合病院 看護部部長

2018年 6月 公益社団法人秋田県看護協会 常務理事

2022年 6月 公益社団法人秋田県看護協会 専務理事

〔協会活動歴〕

秋田県看護協会：専務理事（現職）、常務理事、会計理事、教育委員会委員、日本看護学会（老人看護）委員

〔抱負〕

医療の進歩、少子・高齢化の進展、生産年齢人口の急減する中で、保健・医療・福祉に対する国民の求めるものも高度化・多様化し、看護職の役割はますます重要となってきました。このような社会・医療情勢の激変の中、様々な課題を解決できるような体制を作り、職能団体として人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応じ、人々の健康な生活の実現に貢献できる人材を推薦することに努めてまいります。

◆◆◆ 推薦委員 ◆◆◆

推薦委員会推薦



富士 光恵 64歳 新

〔勤務先〕

公益社団法人 福井県看護協会

〔主な看護業務従事歴〕

2017年 4月 福井県健康福祉部健康増進課 参事
2018年 4月 福井県健康福祉部地域医療課 参事
2020年 4月 仁愛女子短期大学 保健主事
2023年 6月 公益社団法人福井県看護協会 常務理事

〔協会活動歴〕

福井県看護協会：常務理事（現職）、災害看護委員会委員、広報委員会委員、地区委員会委員

〔抱負〕

超少子高齢社会において多様化する健康課題や新興感染症・大規模災害などの健康危機管理等での看護の重要性・期待はますます高まっています。このような中、看護職が人々の尊厳を守り、看護ニーズに応え、健康な生活の実現に誇りと希望を持ち役割を果たしていくためには、看護の質の向上と共に人材の確保・定着、働きやすい環境づくりの支援が必要です。これらの取組むべき課題に真摯に向き合い、貢献できる人材の推薦に努めます。

